

オプションプログラム3 (難易度1~)

おもいきり沢あそび! (6/29 編)

「たすけて〜!!」天然プールで、子どもたちの声がこだまします。本当に困っているわけではありません。天然プールのど真ん中を強く流れる天然ウォータースライダーをさかのぼって泳いでいるのです! ちょっと休めばスグに後ろに流される、がんばって泳いでも、バックしていく。何とか頑張って、奥にいるスタッフの差し出す手につかまり、天然プールの奥にたどりつきます。そこからは、お楽しみ! 天然プールのスタートとなる小滝に座ると、自動的に天然ウォータースライダーのはじまり〜! あんなに苦労してやってきたのに、流れるのは何とも速い! それがまたおもしろく、何度も、何度もくりかえす子どもたち。子ども時代の、めまいのするような楽しさがそこにはあり、心の振り子は大きく大きく揺れるのでした。飛び込みに、魚獲り、川流れ。震えながらも、最後まで、沢を遊び尽くした子どもたちでした。



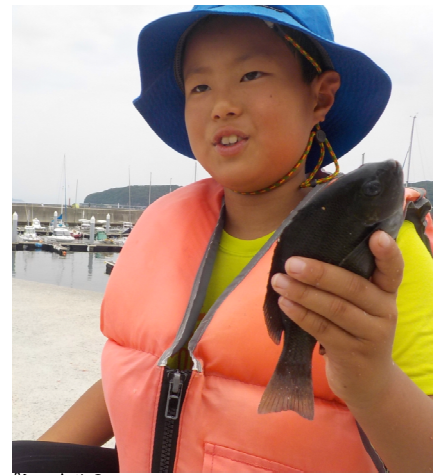
▲何度も、何度も、ダイブ! 何度も、何度も泳いで流され遊ぶ。何度も、何度もウォータースライダー! 子ども時代のめまいのするような楽しさ。なかなか都市生活では味わえなくなったような気がします。大きく心の振り子を揺らすことで、前向きな、次への活力、挑戦心が生まれます。



オプションSP 「いちごがりにでかけよう!!」〜水路たんけんが、湿原たんけん!



オプション2 「春の海つりにでかけよう(6/16)」
〜小アジ、サバ、そして、この日は、カサゴがよくつれました!
1年生、2年生もよくがんばれました〜



オプション2 「春の海つりにでかけよう(6/23)」!
〜この日は、大きなグレ(メジナ)がよくつれ、ウミタナゴもつれました!! 上級生が、下級生に気持ちよく順番をゆずっておりました。〜

あどベンデキタ?!

暑い夏が目です!!みなさま、どうぞお体ご自愛下さい。

今年度も、通年コースがはじまりました。今年度は、リトル21名、キッズ20名、ミドル13名、ジュニア21名、チャレンジ隊23名と、5コース合計で98名の子どもたちが参加しています。通年コースでは、個々の好みの活動、反対に個々の苦手な活動も入ってきます。1年間同じメンバーでみんなで活動しますので、得意な活動は大いにみんなをリードして、苦手な活動は、大いにみんなに助けてもらって、仲間みんなと1年を乗り越える体験ができることがひとつの特徴です。今年度も宜しくお願いします。



Adventure Kids School

子どものための自然体験学校「アドベンチャーキッズスクール」活動報告レポート

Report "adven Dekita?!" —アドベン デキタ?!—

adven Dekita



オプションプログラム3 「おもいきり沢あそび! (6/29 編)」
〜天然ウォータースライダー しゅっぱつ!〜

2019.July

通年コース活動報告

チャレンジ隊 1

前日入し、テント泊。翌朝は、4時45分に起床して、兵庫県最高峰の水ノ山(1510m)に出発。今回は、西尾根から登り、東尾根を下る、ぶん回しルート。登り5.3km、下り3.9kmというタフな山行です。全員で登る中、登山の得意、苦手なメンバーがいますが、ごく自然に全員で動きます。昨年もチャレンジ隊、昨年はジュニア、昨年以前ジュニアのメンバーが初めて会い活動しますが、みんなで自然に行動できます。代は違っても、同じジュニアの活動を乗り越えてきた同志なのかもしれません。9時間30分。しんどいはずが、楽しい山行で、下山口で、やりきった記念写真を撮りたくなるチャレンジ。何よりも、みんなで何かをすることが自然にできている子ども達。とても素敵でした。

「水ノ山1510mチャレンジ」!(小5~)



▲通年コース、今年度もスタートしました。挑んでいる自分っていいな、頑張っている自分っていいな。そんな自分好きだな。そんな気持ちほっとも大切。そこから、自分の可能性が広がるのです。

キッズコース2 「おもいきり沢あそび」!(小2~)

バスを、少し離れた場所に置きに行ったハギが、沢の入り口につくと、すでに沢遊びに出発したみんながいました。でも・・・なんだか、いつもと様子が違います。静かなのです。沢のすべり台や、ちょっとしたプール、小滝の固まってある場所ですが、静かです。よく様子を見てみると、みんな、ちょっとずつ、周囲を偵察しているような様子。「沢」「滝」という響きに、今日の活動、自分ではできるかな、どうかな?という不安もあったことでしょう。しかし、自分で安全を確認しながら、ここ滑れる、ここ泳げる、ライフジャケットで浮かぶことができる、小滝を登ってみると楽しい、生きものがいる、ことがわかってくると、エンジン全開! どんどん、深いところも探検し、生きものも捕りながら上流へ登っていくと、ゴールの大きな深い天然プールへ到着! 岩からの飛び込み! 天然プールを流れに逆らって泳ぐ! 勢いのある小滝を登り、そこから天然ウォータースライダー! 泳ぎが得意ではないメンバーも、おもいきって、浮かんでみる!「こう浮かんだら気持ちいいんだよ」。ゆっくりわじわと沢でのあそびを始めていった子ども達でした。



▲最初と最後では全然違う自分がいたのではあまいでしょうか。チャレンジが、自分の可能性、自分の世界を広げた一日でした。

ジュニアコース2「びわこカヤックショートツーリング」!(小4~+小3)

開校式で、「10 艇(ペア)いたら、3艇くらいは、カヤックがまっすぐ進まなくて、みんなが行く方向と違う方へいってしまうよ」というハギの言葉にドキッとしたのか、陸でのパドルングの練習から、とても上手にパドルングする今年のジュニアのみんな。いざ、琵琶湖にでてからも、本当に上手で、美しいパドルング。あっという間に上手になり、みんなでめでたく沖へこぎ出すと、全艇ちゃんと同じ方向に進んでいきました。沖では、カヤックから落ちたときのレスキュー練習という名の、沖でのドボン! カヤックからジャンプして落ちて、ペアのメンバーにMOBレスキューをしてもらい、またドボン。ここで勢いづいたみんな。2kmのツーリングへ出発するも、本当に上手!あつという間にゴールへたどりつき、また、ドボンしたのでした。



▲カヤック遊びから始まり、最後は、少し本格的に、びわこの 2kmカヤックツーリングへ。日常の自分から考えると、よもや自分がカヤックでびわこをツーリングしているなんて! 自然の中ごっつり体験していると、普段とは、全く違う自分があることに気づくことがあります。非日常の自分。それも、自分。非日常の体験から、色々な自分を発見してほしい。自分を好きになるきっかけを感じてほしい。

リトルコース2 「いかにであそぼう」!(年長、小1)

「ひゃー、つ・め・た・い〜!!」。小さなみんなの歓声!いや、絶叫が聞こえてきます。今年の7月は、とにかくまだ水が冷たい、寒い!! びわこも、多分に漏れず冷たいのです!ところが、そんなことリトルのちびっこ達には関係有りません! いつだって、今、全力!!とにかく自然の湖がうれしくてずっと浮かんでいるメンバー、冷たいと言いながら沖まで行くメンバー、それを追いかけてようタイヤチューブを船にして乗るもひっくり返っているメンバー。タイヤチューブがひっくり返るなら、つなげていかだを作ろう! 20人が乗れる丸いいかだをみんなで作り、全員のついでに出航! 浮かんだ浮かんだ!! おもいきってこいで進む!でもしばらくすると、いかだの上の人数が減って、みんな、いかだから「ドボン!!」。やっぱ、寒くても、今、全力。おもいきってやってみたら、楽しい! 途中、全快で行きすぎて、寒くなり、気持ちがぐずぐずしてしまうことも、船酔いしてしよんぼりしてしまうこともありましたが、おもいきりやることで、そのような気持ちも、楽しく心の揺れる瞬間も含め、たくさん、いろんな、はじめて出会う感情と出会い、自分をひとまわりずつ広げていくことが、リトルの子どもたちの年齢には大事なことを考えています。でも、本当に、冷たい水温で、みんなががんばった、がんばれた。「目の前、今、全力」。この年齢の輝かしさをたくさん感じた活動でした。



ミドルコース1 「春の海遊びにでかけよう」!(小3~)

「ねえ、師匠、あっち行こうよ!」。子どもが子どもに掛けている言葉です。今年のミドルは、小3になりたてのメンバーから中学生(2名も参加してくれました!)までの年齢差の大きい異年齢集団。小3のメンバーから見れば、何でもテキパキ、食べられる貝を見つけるのも、獲るのも上手な中学生は「師匠」なのでしょう。春の干潟で、しおひかりを中心に、少し早めの海遊び。はじめ、濡れるのも、砂がつくのもちょっと抵抗のあったみんな。しかし、食べられる貝を自分で獲ってみたいと、自ら一歩踏み出すとさっきまでが嘘のように貝が獲れはじめ、おまけに、春の海の中にもポツチャン!寒かったけど、自分で最初とはガラッと景色を変えた子どもたちでした。



▲自分で動き出すことで、自分の周りの景色は変わります。自然の中で、これから一歩踏みだし、どんどん、自分の景色を変えていってほしい。非日常の体験から、どんどん新たな自分を見つめ、自分を好きになってほしい。異年齢の仲間との関係からも、たくさん、好きな自分を発見してほしいと思います。